

自分達でトマトを育てたよ

対象：5歳児つばき・ふじ・かえで組

作成日：2019年11月27日

作成者：池下桃代

ねらい・自分たちが育てたトマトがジャムになった事を知り、感謝して食べる。

！トマトジャム完成！



5月
井原さんの畑で土をもらったよ



6月
自分とトマトどっちが大きいかな？



7月
まるい緑の実がたくさん出来たね



8月
コアラキッズの友達もトマト収穫やお世話を手伝ってくれたよ



11月
甘くておいしかったよ♡

振り返り

・「年長さんはトマトを育てるよ。」と言うと「やった！そしたら毎日水やりせんといかん。」と自分達が植物の世話をすることを喜んでいた1学期、毎日水をあげていたけれど時々、トマトのお尻が黒くなっていることに気がついた子は「お店のトマトと違うな～これは病気かな？」「どうしたら治るかな？」と友達と会話をしながら解決策を考えていました。保育者が「井原さんから貰った肥料をあげたら治るかな。」と言うと、Aちゃん：「肥料？」Bちゃん：「ああ！お薬みたいな物じゃない？せんせ、そうよな？聞いたことある！」と会話を通してトマトについて理解を深めていきました。また、トマトの観察絵日記も毎日描いていると、「土やトマトの色ってクレパス1色だけだったら全部同じ色になるんよな～でも、2色混ぜたら本物みたいにオレンジ黄色トマトも描けるんよ。」と、より本物のように成長過程を描き、年長児ならではの鋭い観察力のある絵の描き方も見られました。そして、トマトジャムを食べると「凄くあまいね♡」「お家でもお母さんに作ってもらいたい。」と言い、自分達で育てた大切なトマトだからこそその会話が聞かれました。今回の時間を費やしたトマト栽培体験を通して、きっとみんなの心や身体のステキな糧になったことと思います。(協同性、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、健康な心と体、数量・図形・文字等への関心・感覚)